

高校生による幼児のゴミの分別学習を導入した環境醸成の態度を培うプログラム

指導過程	段階	時間	指導目標	指導事項		学習内容	学習活動	関・意・態	思考判断	技術表現	知識理解	具体的評価規準	教材教具	場所	備考	シチズンシップ教育	
				(3)消費生活と環境イ消費行動と環境	(1)人の一生と家族・福祉・イ乳幼児の発達と保育・福祉											「成長した市民」になることについての知識を理解	・環境的貢献のあり方について学ぶ。
基礎学習（保育・環境）	消費生活と環境	1	身近な容器から消費生活と環境のかかわりに関心を持たせ、環境問題等の消費生活の課題について認識させる。	(ア)消費生活と環境とのかかわり ・資源エネルギー問題等の環境問題 ・消費行動と環境問題の関連		・消費生活と環境のかかわり 身近な容器から見える環境問題 ・消費行動と環境問題 ・現代の環境問題（地球温暖化の仕組みと現状） ・持続可能な社会を構築するためのライフスタイルの必要性	班別に分かれ、ペットボトルと紙バック、空き缶について、利点・欠点を考える。その上で、材質から、環境に優しい順に並べ、発表する。 再生可能なエネルギーと、再生不可能なエネルギーなどと、二酸化炭素の関係について学ぶ。そして、再生不能な化石燃料の使用により、二酸化炭素量が増え続けていることを理解する。 「持続可能な社会」に向けて、今の状況から生活スタイルを変える努力が必要であることに気づく。				【関・意・態】 身近な容器が与える環境への影響を考える中で、消費生活と環境とのかかわりに関心を持っている。（観察・ワークシート） 【知識・理解】 利便性や経済性を無視できない消費生活と環境とのかかわりから、消費生活が抱える課題を認識できる。（ワークシート・観察）	ワークシート ペットボトル・紙バック・缶・ビン 資料 ゴミ問題に関するデータ集	教室	個別学習		「成長した市民」になることについての知識を理解	・環境的貢献のあり方について学ぶ。
		2	自己の生活行動や生活意識を見直させ、環境負荷の少ない生活行動や意識を獲得するための工夫として、幼児期からの環境学習に関心を持たせ、実践への意欲を持たせる。	(イ)環境負荷の少ない生活への取り組み ・環境問題に関わる物資 ・サービスの選択、購入、活用や生活の仕方などの点検 ・環境負荷の少ない生活 ・個人や地域の取り組み	・消費行動と環境問題 地球温暖化の行く末 ・環境保全が進まない理由と対策 環境保全の消費行動の方法 「グリーンコンシューマー」 ・環境保全が進まない理由と対策 意識の低さと環境教育 ・環境先進国の環境教育 環境保全への意識を高めるための実践 ・自分たちでできる環境保全について考える。 「高校生による幼児期からの環境学習」について	このまま二酸化炭素が増え続けた場合の地球規模における危機的状況について理解する。 環境保全が進まないことへの対策を考える。「方法がわからない」という生徒が多かったことから、グリーンコンシューマーについて学び、具体的な消費行動の方法を学習する。 環境を守る行動を行う上での問題点について生徒のアンケート結果から考える。「面倒である」等の理由から、環境問題への興味・関心の低さが問題であることに気付く。 環境を守ろうとする意識を高めるためにはどうしたらよいか、環境先進国であるドイツのフライブルク市、メルディンガー小学校の実践から考える。生涯学習としての環境学習の重要性を学ぶ。日本では未だ行われていない幼児期からの環境学習に着目し、高校生による幼児の環境学習の実践例を知った上で、自分たちの実践にむけて意識を高める				【思考・判断】 【知識・理解】 グリーンコンシューマーとして行動する具体的な方法を理解し、生活行動を見直すことができる。（ワークシート・観察） 【思考・判断】 自己の生活意識に関する問題点を発見できる。（観察・感想） 【関・意・態】 幼児期からの環境学習に関心を持ち、実践への意欲を持っている。（感想）	資料2 未来新聞 ワークシート パソコン・プロジェクト 資料 アンケート結果	教室	全体学習				
	乳幼児の発達と保育・福祉	3	乳幼児の心身の発達について関心を持たせ、発達段階や個性に応じた子どもとのかかわり方など、保育の在り方について具体的に考えさせる。	(ア)乳幼児の心身の発達と生活 ・乳幼児の心身の発達の順序と共通性、個別性 ・遊びの意義や生活習慣の形成 ・親の役割と保育	乳幼児の心身の発達の特徴 乳幼児の遊びの特徴と意義 親の役割と保育 班編制	乳幼児期の特徴と生活について理解する。 乳幼児期の遊びの意義について、基本的な事項を理解する。 親の役割と保育について理解し、幼児の生活習慣の形に対する親の役割の重要性を理解する。幼児の生活習慣を変えるには保護者や先生への働きかけが必要であることを理解する。 第一回のリーダー班はゲームを考えるよう指示する。				【知識・理解】 乳幼児の発達段階と適切な働きかけと、遊びの意義について理解している。（ワークシート2） 【知識・理解】 幼児の生活習慣の形成にあたり、親の役割の重要性を認識している。（ワークシート）		教室	全体学習		「スキル」を学ぶ	子どもの取り方の接し方、アンケート	

指導過程	段階	時間	指導目標	指導事項		学習内容	学習活動	関・意・態	思考判断	技術表現	知識理解	具体的評価規準	教材教具	場所	備考	シチズンシップ教育		
				(3)消費生活と環境イ消費行動と環境	(1)人の一生と家族・福祉・イ乳幼児の発達と保育・福祉											「調査とコミュニケーションのスキルを育成」	「参加と責任ある行動」のスキルを育成	
課題発見	地域での体験学習（高校生による幼児のゴミ分別学習）	準備学習	4	子供の遊び・乳幼児の心身の発達について関心を持たせ、発達段階や個性に応じた子どもとのかかわり方など、環境学習プログラムの作成を通して保育の在り方について具体的に考えさせる。	(イ)環境負荷の少ない生活への取り組み ・地域の一員としての取り組み	(ア)乳幼児の心身の発達と生活 ・乳幼児の生活と遊び ・発達段階に応じた働きかけ	幼児の環境学習プログラムの準備 ゲームの原案を考え提出する。 第一回保育実習での目標を立てる。 保護者・職員へのアンケート作成、新聞作成 保育実習の事前準備	・班ごとにゲームの考案と、第1回保育実習のための調査項目の確定 ・保護者・職員へのアンケートと新聞作り ・保育実習の事前準備（実習上の留意点や準備物の確認。また、事故等起こらないような対処）				【思考・判断】 【知識・理解】 幼児の発達段階を考慮した、ゴミの分別能力獲得のためのゲームを考えることができる。（ワークシート） 【思考・判断】 子供の遊び・乳幼児の心身の発達について関心を持ち目標を定められる。（観察・ワークシート）	ワークシート	教室・図書室等	全体学習及び班別学習	「調査とコミュニケーションのスキルを育成」	「参加と責任ある行動」のスキルを育成	地域社会におけるフィールドワークや、アンケート調査、問題点に
		問題発見（幼稚園訪問1）	5 6	発達段階や個性に応じた子どもとのかかわり方など、保育の在り方について交流を通して考えさせ、環境に関する地域の課題を見いださせる。	(イ)環境負荷の少ない生活への取り組み ・地域の一員としての取り組み	(ア)乳幼児の心身の発達と生活 ・乳幼児の生活と遊び ・発達段階に応じた働きかけ	第1回 学習プログラム実践 幼児との自由遊び ごみの分別能力を調べるゲームの実施 アンケートの配布（保護者・職員）	幼児との交流を通して、その行動特性を理解する。幼児の視点に立った、適切な働きかけや、興味・関心について理解する。 幼児が分別できるかどうかゲームで調べる。 アンケートの配布				【関・意・態】 【思考・判断】 幼児と積極的に交流し、適切なかかわり方を考えることができる。（観察） 【思考・判断】 幼児の環境に対する意識や行動について、課題を発見することができる。（ワークシート・感想）	ワークシート お面やゴミ等	幼稚園	全員			
価値認識	地域のために行動する市民との出会い	ゲストティーチャー1	7	消費者（市民）の役割について関心を持たせ、主体的な行動の意味を理解させる。地域の生活に関心を持ち課題を改善しようとする市民の活動や思いが地域をよりよくなることに気付かせ、実践の価値を認識させる。	(ア)消費生活と環境とのかかわり ・資源エネルギー問題等の環境問題 (イ)環境負荷の少ない生活への取り組み ・地域の取り組み		市民性についての授業 「環境問題と市民活動～市民活動で法律を変える～」 ・家電や生活用品から出るフロンガスと地球温暖化の関係 ・フロンガス規制法ができるまでの経緯（市民による行政や企業への提案）	TTで社会人講師とともに授業を行う。生活に密接した環境問題について、市民としての主体的な行動方法とその意義を学ぶ。地域の課題解決に対しては個人レベルできると、市民の連携をはかり、行政への提言等を行うなど様々な方法があることを知る。また、企業や行政にはできない役割があることを理解させ、市民として地域に働きかける環境醸成の価値を認識させる。今行っている実践こそ、市民として環境醸成に取り組んでいることに気づかせる。			【関・意・態】 【知識・理解】 消費者（市民）の役割について関心を持ち、主体的な行動の意味を理解している。（感想） 【知識・理解】 地域の生活に関心を持ち課題を改善しようとする市民の活動や思いが地域をよりよくなることに気付かせ、実践の価値を認識している。（感想）	・お面やゴミ等 ・保護者・職員用のアンケート ・生徒の作った新聞	教室	班別学習	解	成熟した市民についての知識	市民の行政の公益活動への参加と	
課題設定	高校生による幼児の環境学習プログラム	幼稚園訪問の振り返り	8	実習での観察をもとに、幼児の特徴について把握させ、幼児の発達段階と個性について再認識させる。また、実習での観察やアンケートから、環境学習を行う上での課題を設定させる。	(イ)環境負荷の少ない生活への取り組み ・地域の一員としての取り組み	(ア)乳幼児の心身の発達と生活 ・乳幼児の生活と遊び ・発達段階に応じた働きかけ	第1回 幼稚園訪問の振り返り 幼児の交流の中で発見した事 幼児の発達段階と個性 課題の設定（環境に関する幼児・保護者・職員の課題を設定する。）	第1回目の交流を通じて、感じたことを発表し、幼児の特徴について全体で確認する。また、幼児の環境に関わる問題を発見する。また、保護者・職員へのアンケート結果から、環境に関わる意識や行動の問題を発見する。発見した問題から、課題を設定する。			【思考・判断】 観察をもとに、幼児の特徴について把握し、幼児の発達段階に応じた働きかけの必要性和様々な個性があることに気付いている。（観察・ワークシート） 【思考・判断】 実習での観察をもとに、環境学習を行う上での課題を設定している。（ワークシート）	・ビデオプロジェクター ・ビデオカメラ ・CDラジカセ ・パンフレット	教室	班別学習	ルを育成	「参加と責任ある行動」のスキル	担当・ユニティが主役となる責任の一翼を多	

指導過程	段階	時間	指導目標	指導事項		学習内容	学習活動	関・意・態	思考判断	技術表現	知識理解	具体的評価規準	教材教具	場所	備考	シチズンシップ教育
				(3)消費生活と環境イ消費行動と環境	(1)人の一生と家族・福祉 イ乳幼児の発達と保育・福祉											
課題解決策の考案	学習プログラムの考案	9	設定した課題の解決策として、幼児の発達段階を考慮した遊びを中心とした学習プログラムを考えさせる。また、保護者・職員の問題に関する課題解決策を考え、計画させる。	(イ)環境負荷の少ない生活への取り組み ・地域の一員としての取り組み	(ア)乳幼児の心身の発達と生活 ・乳幼児の生活と遊び ・発達段階に応じた働きかけ	・学習プログラムの考案 ・保護者・職員に対する働きかけの計画	・幼児にゴミの分別を教える学習プログラムを作成する。楽しみながらゴミの分別等の環境について関心を高められるゲームを考案する。各班で考案したゲームを、各回の学習テーマに沿って配置してプログラムを作成する。プログラムの作成後、各回のリーダー班を決定し、リハーサル等の日時も決める。 ・保護者・職員のアンケート結果から、この活動に求められていることを自覚し、目指すゴールを明確にする。保護者・職員の問題への意識を高めるための新聞作成について計画を立てる。表面には幼稚園での活動の報告と、裏面には環境問題の特集を組む。特集のテーマについて話し合う。					【思考・判断】 学習プログラムの組み立てにあたり、幼児の発達段階を考慮したゲームを積極的に考えられる(ワークシート) 【思考・判断】 保護者・職員の問題に関する課題解決策を考え、テーマ等について意見が出せる(観察)	ワークシート	教室	班別学習	
		10 11	ゴミの分別能力の獲得を目標に課題解決を行わせる。ゴミの違いについて教える中で、幼児に関心を持ち、適切な保育態度について考えさせ、ゲームを通して幼児の理解を促す働きかけや表現を実践させる。	(イ)環境負荷の少ない生活への取り組み ・地域の一員としての取り組み	(ア)乳幼児の心身の発達と生活 ・乳幼児の生活と遊び ・発達段階に応じた働きかけ	第2回 学習プログラム実践 幼児との自由遊び ごみの違いを教える ゲームの実施(ごみ釣りゲーム) 紙芝居(リサイクルについて) 新聞の配布(保護者・職員)	幼児との交流(30分)後、ゲームを実施する。学習プログラムで立てたテーマに沿って、幼児のゴミの分別能力を高める働きかけを行う。保護者・職員には環境問題への意識を高める新聞を配布する。					【関・意・態】 【思考・判断】 幼児に関心を持ち、適切な保育態度について考えることができる。(観察・感想) 【技術・表現】 ゲームの中で幼児の理解を促す働きかけや表現ができる(観察・感想)	生徒が作成した教材及び新聞	幼稚園	前半20名	
		10 11	教材の準備と新聞の準備をさせる。	(イ)環境負荷の少ない生活への取り組み ・地域の一員としての取り組み	(ア)乳幼児の心身の発達と生活 ・乳幼児の生活と遊び ・発達段階に応じた働きかけ	教材の準備(担当班) 調べ学習と新聞の下書き(担当班)	幼児が興味を持ちやすい教材を工夫して考える。新聞についてはテーマに沿って環境問題を調べ、保護者や職員にわかりやすいようにまとめる。						【技術・表現】 幼児に親しみやすいような教材を作成できる。(教材) 【関・意・態】 環境問題に関心を持ち、多くの情報から必要な情報を取り出してまとめることができる。(新聞)	教材(文具等) 資料(図書等)	教室	後半20名
課題解決	高校生による幼児の環境学習プログラム	地域での問題解決(幼稚園訪問)	12	子どもの心身の発達と特徴への理解を深め、子どもとの様々なかかわり方があつたことを学ばせ、子どものかかわりに意欲を持たせる。自分たちの地域の課題解決に対する意識から課題を見だし、実践の意義を見いださせる。	(イ)環境負荷の少ない生活への取り組み ・地域の一員としての取り組み	(ア)乳幼児の心身の発達と生活 ・乳幼児の生活と遊び ・発達段階に応じた働きかけ	前半 第2回 学習プログラムの振り返り(ビデオと発表) 環境問題を調査した班の発表(新聞の配布及び発表) 後半 生徒自身の地域環境への関心や課題解決への態度について傾向の把握と活動の意義	第2回のビデオを見て、関わり方等について適切だったかどうかを考える。幼児の個性だけでなく、生徒一人一人の個性が表れている事にも付き、それぞれの子供とかわるうと意欲を持つ。 自分たちの市民意識について、環境適応と環境醸成の生活者を比較し、生徒のアンケート結果から、環境適応の生活者であることに気づかせる。地域住民(市民)としての活動という面から活動の意義についても自覚する。				【知識・理解】 子どもの心身の発達と特徴への理解を深めている。(ワークシート) 【関・意・態】 自分の得意分野を生かしながら子どもとかわるうとうと意欲を持っている。(観察) 【思考・判断】 自分たちの意識調査の結果から課題を見だし、実践の意義を見いだしている。(観察・ワークシート)	ビデオプロジェクター ビデオカメラ 生徒のアンケート結果	教室	班別学習	

指導過程	段階	時間	指導目標	指導事項		学習内容	学習活動	関・意・態	思考判断	技術表現	知識理解	具体的評価規準	教材教具	場所	備考	シズンシップ教育
				(3)消費生活と環境イ消費行動と環境	(1)人の一生と家族・福祉 イ乳幼児の発達と保育・福祉											
課題解決	高校生による幼児の環境学習プログラム 地域での問題解決（幼稚園訪問3・4）	13 14	不燃ゴミを燃やす害やゴミの違いを教えるために、ゲームを通して幼児の理解を促す働きかけや表現を実践させる。同時に幼児に環境について教えながら自分自身の環境への関心を高めさせる。	(イ)環境負荷の少ない生活への取り組み ・地域の一員としての取り組み	(ア)乳幼児の心身の発達と生活 ・乳幼児の生活と遊び ・発達段階に応じた働きかけ	第3回 学習プログラム実践 幼児との自由遊び 言葉に慣れる（歌とおどり） ごみを燃やす害（ダイオキシン） ゲームの実施（旗揚げゲーム・いすとりゲーム） 新聞の配布（保護者・職員）	幼児との交流（30分）後、ゲームを実施する。学習プログラムで立てたテーマに沿って、幼児のゴミの分別能力を高める働きかけを行う。保護者・職員には環境問題への意識を高める新聞を配布する。					【技術・表現】 不燃ゴミを燃やす害やゴミの違いを教えるために、ゲームを通して幼児の理解を促す働きかけや表現を表現できる。（観察） 【関・意・態】 幼児に教えながら自分自身の環境への関心を高めている。（感想）	ゴミパネル 旗 イス 生徒が作成した新聞	幼稚園	後半20名	「参加と責任ある行動」のスキルを育成 コミュニケーションにおける責任の一翼を担う・青少年が主役となる機会を多様に作り出し、参加のプロセスを体験し評価し反省しあう。
		13 14	教材の準備と新聞の準備をさせる。	(イ)環境負荷の少ない生活への取り組み ・地域の一員としての取り組み	(ア)乳幼児の心身の発達と生活 ・乳幼児の生活と遊び ・発達段階に応じた働きかけ	教材の準備（担当班） 調べ学習と新聞の下書き（担当班）	幼児が興味を持ちやすい教材を工夫して考える。新聞についてはテーマに沿って環境問題を調べ、保護者や職員にわかりやすいようにまとめる。					【技術・表現】 幼児に親しみやすいような教材を作成できる。（教材） 【関・意・態】 環境問題に関心を持ち、多くの情報から必要な情報を取り出してまとめることができる。（新聞）	文房具等 図書等	教室	前半20名	
		15 16	4回の訪問で幼児や地域の大人（保護者・職員）の意識や行動に変化があったかをゲームで確認させ、幼児の変化を把握させ、実践の効果に関心を持たせる。	(イ)環境負荷の少ない生活への取り組み ・地域の一員としての取り組み	(ア)乳幼児の心身の発達と生活 ・乳幼児の生活と遊び ・発達段階に応じた働きかけ	第4回 学習プログラム実践 幼児との自由遊び ものを大切にしよう（劇） ゲームの実施（分別能力の確認） 新聞の配布（保護者・職員） アンケートの実施	幼児との交流（30分）後、ゲームを実施する。学習プログラムで立てたテーマに沿って、幼児のゴミの分別能力を高める働きかけを行う。「ものを大切にしよう」意識を高める働きかけを行い、最後にゲームを通して幼児の分別能力が獲得されたかを確認する。地域の大人（保護者・職員）にはアンケートを配布し、実践での変化を調査する。					【技術・表現】劇を通じてものを大切にしようという気持ちを育む働きかけの工夫ができる。（観察） 【関・意・態】幼児の変化について把握し、実践の効果に関心を持っている。（感想）	お面や ゴミ等 小道具 ゴミ袋 生徒が作成した新聞	幼稚園	全員	
	17	「幼児のゴミ分別学習プログラム」の効果を検証させ、自分たちが作って実践したプログラムが地域に及ぼした影響について考えさせる。	(イ)環境負荷の少ない生活への取り組み ・地域の一員としての取り組み	(ア)乳幼児の心身の発達と生活 ・乳幼児の生活と遊び ・発達段階に応じた働きかけ	まとめ「高校生による幼児の環境学習プログラムの成果について」 園児の変化 保護者・職員の変化 生徒の変化	学習プログラムの効果を検証（幼児・保護者・職員・生徒自身） 自分たちでできたこと、地域住民として地域のためにできることを考える						【思考・判断】保育実習を振り返り、学習プログラムの結果を考察できたか。（ワークシート） 【思考・判断】 【関・意・態】 自己の変容についても省みる中で、地域における自己有効感を高めることができたか。（アンケート・感想等）	地域の大人（保護者・職員）のアンケート結果 自己評価表（生徒用）	教室	全員	

指導過程	段階	時間	指導目標	指導事項		学習内容	学習活動	関・意・態	思考判断	技術表現	知識理解	具体的評価規準	教材教具	場所	備考	シチズンシップ教育	
				(3)消費生活と環境イ消費行動と環境	(1)人の一生と家族・福祉 イ乳幼児の発達と保育・福祉												
市民の力、環境醸成への具体的行動	会 地域の ために 行動する 市民との 出	18	市民として活躍する高校生の活動から、地域の生活に関心を持ち課題を改善しようとする市民の活動や思いを学ばせ、市民的自覚を高める。	(イ)環境負荷の少ない生活への取り組み ・地域の一員としての取り組み		「高校生でも地域のためにできること～高校生の力で実現したチャリティーバザー」	群馬の高校生の実践例として「ぼかぼかマーケット」等について知り、実際に高校生のボランティア活動で地域が動いた活動の存在を知る。環境に働きかける方法としての市民活動やボランティア活動について理解を深める。					【関・意・態】地域の生活に関心を持ち課題を改善しようとする高校生の活動について興味を持っている。(感想・観察) 【知識・理解】高校生も市民であるという市民的自覚を高めている。(ワークシート・感想)		教室	全員	ワークシート パンフレット	「参加と責任ある市民」のスキルを育てての知識を理解
	市や環境庁への提言	19	地域の生活環境の課題に対し、対策を提言にまとめさせる中で、地域に関心を持たせ、主体的に地域の課題に取り組んだ実践を地域に広げる試みを実践させる。	(イ)環境負荷の少ない生活への取り組み ・地域の一員としての取り組み		実践を元にした「提言」 ・環境庁のホームページへの書き込み現行づくり ・ホームページ原案づくり(情報発信は後日行う)	・実践で感じた事を元に、提言を考える。(後日環境庁のホームページに書き込む) ・「幼児のゴミ分別学習プログラム」の様子をホームページに載せるための原稿を作成する。(活動の振り返りも同時に行う。)				【関・意・態】地域に関心を持ちながら実践で感じたことを生かし、ホームページの原稿を作成できる。(ホームページ原稿) 【技術・表現】実践の体験から感じたことを、地域の生活環境の課題に対する提言としてまとめることができる。(ワークシート)		教室	班別学習	ワークシート		
	自己の意識や態度等の変容	20	地域の生活に関心を持ち課題を主体的に改善しようとするのが市民の役割であることに気付かせる。また、実践による自己の変容を振り返らせる。	(ウ)消費者の権利と責任 ・権利の主体者としての消費者 ・適切な意志決定や消費行動		「環境適応型の消費者と環境醸成型の消費者」 「実践を通じた自己の変容の振り返り」	「市民」という言葉について考えさせ、「シチズンシップ」について考えさせる。そして、単なるサービスの利用者ではなく、問題を発見し、課題の解決に向けて主体的に環境に働きかける環境醸成の消費者の視点こそ、消費生活と環境における諸問題の解決につながることを学ばせる。 記入したポートフォリオ用紙を配布し、自己の変容を振り返らせる(アンケート)。				【知識・理解】環境適応と環境醸成の消費者の違いを知り、市民の役割を考えることができたか。(ワークシート) 【関・意・態】 【思考・判断】自己の変容に気付くとともに、これからの自己の消費者としてのあり方を考え、環境醸成の意欲と具体的な行動を考えることができたか(感想・ワークシート)		教室	全体学習	ワークシート ポートフォリオ用紙 アンケート		